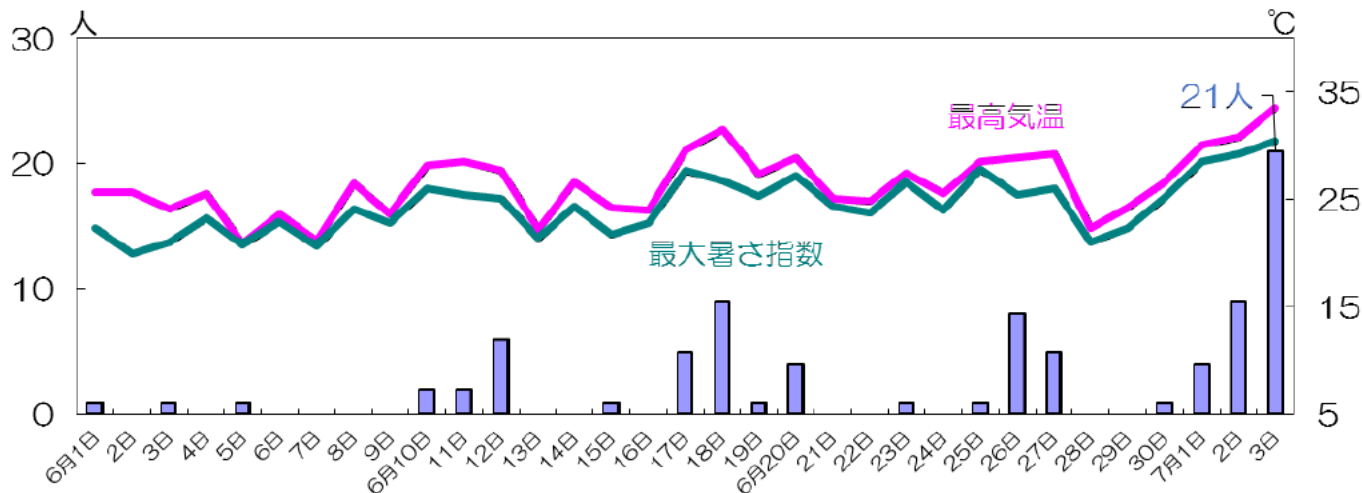


熱中症情報

<搬送数>

平成28年5月1日～7月3日までの搬送数（消防局データを使用）は、計110人（5月27人、6月19人、7月34人）でした。7月3日は、最高気温が33℃を超え、搬送数も21人と多かったです。

熱中症は、高温や多湿等が原因となって起こり、身体がまだ暑さになれていない梅雨の時期は、蒸し暑い日、風が弱い日、日差しが強い日等に増加する傾向がありますので、水分補給等の対策が必要です。



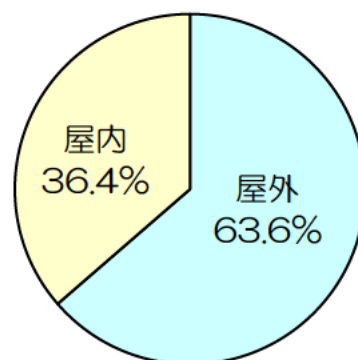
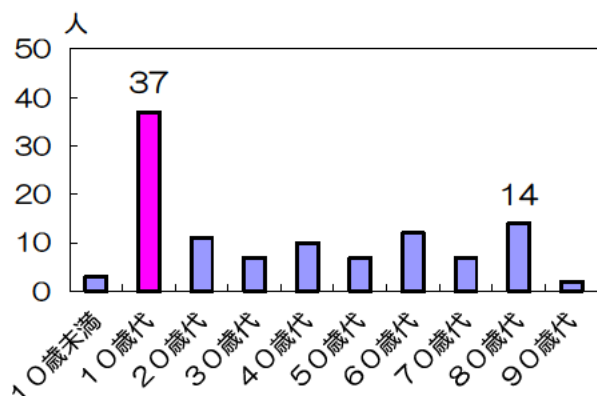
暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト（暑さ指数（WBGT）とは？）](#)」をご覧ください。

<年齢別>

年齢別では、10歳代が33.6%と、一番多く、次に80歳代が12.7%でした。

<発生場所>

屋外63.6%、屋内36.4%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症66.4%、中等症31.8%、重症0.9%、重篤0.9%でした。重症以上は2人（重症1人、重篤1人）、80歳代でした。

年齢が高くなるにつれ、中等症以上の割合が約2倍増加し、重症化の傾向が伺えます。

